

蟬かえる まあ、今回も笑わないで聞いてください。お勉強ですから。 片岡 隆

「蟬かえる」という小説名がタイトルの2020年発行、著者は櫻田智也のミステリー短編集「蟬かえる」という書籍があるが、いかにしてこれを知ったかは、・・忘れた。

この本をいつものように、杉並図書館に予約し、1週間ほど前に、近くのサービスセンターから借り出した。ここで、このセミは、つくりが単ではなく、口が並んだ単であることを知った。

そして、なななあ〜んと、「聖ミカエル」に引っかけた何かの企みか？とひらめいたのだった。（魚のヒラメはいないが）「聖ミカエル」というものがなんとなくあるような気がしたが、ほんとうにあるのかどうか、どのようなものなのかは分からなかったので、早速、ググって見たら以下のことが分かった。なお、著者は、この語呂は意識していないもようである。

1. 聖ミカエルは、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教における大天使で、カトリックでは、大天使聖ミカエルの称号で呼ばれる。各教とも概ね、強い守護神的なイメージである。
2. 欧米では男女を問わず、人名の元となっている。英語のマイケル (Michael) : マイケル・ジョーダン、ドイツ語のミヒャエル (Michael) : ミヒャエル・エンデ、フランス語のミシェル (Michel) : ビートルズの曲、モン・サン・ミッシェル、ロシア語のミハエルなど。
3. 日本にも、聖ミカエル教会とか聖ミカエル幼稚園などがあり、この神戸にある幼稚園は、「せみとかえるの幼稚園」という愛称を前面に打ち出している。めでたし、めでたし